

流山市補助金等審議会会議録（第５回）

- 1 開催日 平成２３年７月１９日（火）
午後２時から
- 2 場所 流山市役所第１庁舎３階庁議室
- 3 出席委員 柴委員、廣田委員、前田委員、山口委員、伊藤委員、
松本委員、西村委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 秋元財政調整課長補佐、加藤臨時職員
- 6 傍聴者 なし
- 7 議題

（１）平成２３年度既存補助金のヒアリング（３日目）

対象課：図書・博物館、子ども家庭課、指導課、生涯学習課

（２）その他

8 配付資料

（１）平成２３年度既存補助金審査表

（伊藤会長）ただいまから、第５回流山市補助金等審議会を開催いたします。

本日の会議は、出席７名、欠席なしですので、会議は成立していることをご報告します。

なお、あらかじめ報告申し上げますが、流山市では、「審議会等の会議の公開に関する指針」を策定し、審議会等の会議は原則公開とする旨規定しておりますことから、本審議会も公開といたしますので、あらかじめご了解いただきたいと思います。

本日は、平成２３年度既存補助金審議のヒアリングを行います。

前回、ヒアリング対象としました３７件の補助金のうち、本日は、別紙審査票にありますとおり、４課、１２件の補助金等についてヒアリングを行います。

では、早速始めたいと思います。

【指定無形民俗文化財保存事業補助金】

（伊藤会長）本日は、お忙しい中を、ヒアリングに出席いただきあり

がとうございます。

始めに、補助金について、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」や過去３年間で行った改革を中心に５分程度でご説明下さい。

その後に、私たちから質問を行いたいと考えております。

それでは、お願いします。

【図書・博物館 説明】

（松本委員）おびしゃ行事の人数が少ないのはなぜですか。

（図書・博物館）観客の人数が１００人で、行事に携わる自治会の人数を入れると倍になります。１月２０日に実施日が固定されており、ほとんど平日で厳寒期でもあり他に比べると少なくなります。ヂンガラ餅行事は厳寒期ですが日曜日に行われます。

（山口副会長）市内外からの見学者も年々増加していると言う事ですが、どの位増えているのですか。テレビ局はどこがくるのですか。

（図書・博物館）日程等をプレス関係に流しているので、雑誌にも反映され、市の広報での周知が大きいかと思えます。コアラテレビは毎回すべての行事を放送してしまいます。ＮＨＫはヂンガラ餅を首都圏ニュースで放送しています。大しめ縄とおびしゃ行事は千葉テレビ等で紹介されました。

見学者の市内外の割合を正確に把握していません。地元の方とは違うと思われる人に声かけをすると、市外や県外からの方がいます。事前に電話での問い合わせも増えています。

（西村委員）適正化実行化プランの平成２３年度予算要求に当たっての担当課の見解に、各団体から、これ以上の補助金減額は行事の継続に支障が生じる旨の意見があるため、現状どおりとしたい、とありますが、具体的にどういう事ですか。

（図書・博物館）補助金がなくても続けられる団体だと思えますが、伝統行事を残すという意味で継続する事業だと思えます。

（西村委員）新たに認定する物がありますか。

（図書・博物館）今のところありません。かつてあった物を復活する場合、可能性があるかと思えますが。指定文化財に限られた補助金で

す。

(前田委員) 適正化実行化プランで本補助金の改革すべき点は、特になし、と考えているのですね。

適正化実行化プランの平成 23 年度予算要求に当たっての担当課の見解に、各団体から、これ以上の補助金減額は行事の継続に支障が生じる旨の意見があるため、現状どおりとしたい、とありますが、減額されたくないと言う団体の意見に市が左右されるのは、問題だと思います。

算出基準が 1 件 14 万 6 千円の根拠はありますか。

(図書・博物館) 実績報告で支出の 50 % です。

(前田委員) それぞれ支出の半分为 14 万 6 千円なのですか。

(図書・博物館) 3 つ合わせてトータルでこうなりました。

(前田委員) ずっと 43 万 8 千円の補助金なので根拠にならないと思います。私達は、適正化プランが判断基準ですのできちんと書いて下さい。

(伊藤会長) この案件は非常に重要だと思いますので、PR し、発展していけばいいと思います。

ありがとうございました。

【私立幼稚園園児補助金】

(伊藤会長) 本日は、お忙しい中を、ヒアリングに出席いただきありがとうございます。

始めに、補助金について、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」や過去 3 年間で行った改革を中心に 5 分程度でご説明下さい。

その後に、私たちから質問を行いたいと考えております。

それでは、お願いします。

【子ども家庭課 説明】

(松本委員) 3 歳児が 1 万 5 千円で 4, 5 歳児は 2 万円なのは、どうしてですか。

3 歳児が 1 万 9 千円の保育料がかかり 1 万 5 千円補助があり、 5

歳児は1万6千の保育料なのに2万円の補助があるのはどうしてですか。

(子ども家庭課) 幼稚園の保育料については月額で、補助金は年額です。

最初のご指摘についてですが、この補助金は昭和56年からの制度で、当初は4,5歳児だけでした。3歳児は比較的新しいところで制度化され、当初は1万円だったのですが、平成20年度から1万5千円になりました。できれば、将来4,5歳児と同じ2万円になればと思います。補助金のスタートが3歳児と4,5歳児では違うという経緯があります。

(松本委員) 市民から苦情はありますか。

(子ども家庭課) 苦情はありません。

(前田委員) 今後、公立幼稚園が無くなった場合を前提にしているのですか。

20年の審議会で見直しの答申をつくったのに、適正化プランに改革すべき点の記載がなく、不満です。

(子ども家庭課) 公立幼稚園を全部廃止するような事はないと思います。

(前田委員) きちんと整理して提案して下さい。

(伊藤委員) 保護者の経済的負担軽減は分かりますが、所得制限を設けた方がよいのではないのでしょうか。

ありがとうございました。

【小中学校教育研究会補助金】

(伊藤会長) 本日は、お忙しい中を、ヒアリングに出席いただきありがとうございます。

始めに、補助金について、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」や過去3年間で行った改革を中心に5分程度でご説明下さい。

その後に、私たちから質問を行いたいと考えております。

それでは、お願いします。

【指導課 説明】

(山口副会長) 研究の成果を具体的に教えて下さい。

(指導課) 今日配布した資料の中に 22 年度の基本運営方針、研究をまとめた物があります。

(前田委員) 本来は流山市の研究活動を推進する為の補助金なのに、千葉県教育研究会に予算の 37%60 万円負担していますが、研究会の中で疑問を生じないのですか。

(指導課) 流山市教育研究会は千葉県研究会の流山支部になっており、千葉県から資料の提供等もあります。

(前田委員) 流山の研究に厚く使った方がいいのではないですか。

(山口副会長) 千葉県研究会は 60 万円負担している意義は何ですか。

(指導課) 千葉県にも各教科の研究会があり、そちらに流山市から参加します。千葉県、関東、全国と研究会がつながっていて、千葉県から派遣申請や案内がきます。

千葉県で各教科の先進的な研究を見ながら研修出来ます。来年度は、流山の小中学校が算数・数学の主会場です。千葉県教育研究会で千葉県の先生方に授業の様子や研究を発表します。

年 1 回の夏の講演会は、教職員だけでなく保護者に案内しています。

(前田委員) 事業は適正だと認識していますが、適正化実行プランをちゃんと書いて下さい。

(指導課) はい、わかりました。

【研究指定校活動事業費補助金】【指導課 説明】

(山口副委員長) 先程の小中学校教育研究会との住み分けは、どうなっているのですか。

(指導課) 小中学校教育研究会は、市内小中学校 23 校が教科毎に集まって研究を深めています。研究指定校活動事業は、学校を研究指定します。

(伊藤会長) 県や省から指定が来るのですか。こちらから申請するのですか。

(指導課) 両方あります。

補助金は流山市教育委員会が指定をして研究を推進するものに限っています。

(山口副会長) 成果はありますか。

（指導課）学校で研究した成果を先生方、各学校に資料配布します。自分の学校のホームページで案内しています。保護者の方も研究発表会に参観できます。

（廣田委員）流山市図書館には、置いてないのですか。

（指導課）閲覧できる場所がありません。

（廣田委員）市によっては、公共の資料を置いてありますので、流山市も公開した方が良くと思います。

（廣田委員）指定校は順番ですか。

（指導課）基本的には順番ですが、研究したいという学校があれば、教育委員会で検討します。

【進路指導対策費補助金】【指導課 説明】

（伊藤会長）社会の犯罪に走らないようにする為の進路指導対策だと思いましたが、受験の学校案内等進学率を上げる為の費用は疑問です。

（指導課）進学率を上げることは、現場の職員は考えていません。生徒達が様々な選択肢の中から自分にあった進路を選ぶ為の情報提供と考えています。数は少ないですが、中学校卒業後就職する生徒の為に会社を回ってお願いをする事もあります。学校案内を各教室に置き高校を選ぶ時の判断材料にしてもらいたいと考えています。

（前田委員）適正化実行化プランに、「進路指導全体に係る予算及び事業報告書の提出を求め、補助金の審査、評価を行う。生徒や保護者に情報を提供するためにも不可欠である」とありますが、21年度、22年度、23年度の欄に「実績を踏まえて再評価を行う」とありますが、3年間何も変わっていません。どういう再評価を行って、評価の資料は公開されていますか。

（指導課）教育委員会に事業計画書、決算書、実績報告書をあげてもらっていますが、それを一般公開していません。

（前田委員）内々の話しでなくて、再評価した資料は公開するべきだと思います。毎年、再評価しますと言っていますが、分かりません。指導課については、基本的なところで取り組んでもらいたいです。

（廣田委員）高校の選択肢を増やすだけでなく、進路指導では、どうして高校に行くのか、そういうところから考えられる環境をつくっ

てほしと思います。

（指導課）中学校３年間の学年の発達段階に合わせて学級活動や道徳の授業で行いますが、外には出てこない部分があります。進路イコール上級学校に進学ではありません。

（廣田委員）予算の使い方が表面的なものではないですか。

（伊藤会長）能力を活かした進路指導が重要だと思います。

（指導課）補助金をどのように使っているかを出したので、進学の為というイメージに取られてしまうかもしれませんが、小学校を含め中学校においてキャリア教育と呼ばれていますが、事業所に行き職場体験し、その中から自分の将来を見つけていく教育を実施しています。始めから進学ありきではなく、生徒、保護者の三者面談等で進学就職の指導をしています。

（山口副会長）お金のかかっているのが学校案内や訪問の経費という事ですね。成果、効果を納得いくものにすれば必要性があるものになると思います。

（伊藤会長）ありがとうございました。

【文化協会活動事業費補助金】

【美術家協会活動事業費補助金】

【文化祭実行委員会活動事業費補助金】

（伊藤会長）本日は、お忙しい中を、ヒアリングに出席いただきありがとうございます。

始めに、補助金について、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」や過去３年間で行った改革を中心に５分程度でご説明下さい。

その後に、私たちから質問を行いたいと考えております。

それでは、お願いします。

【生涯学習課 説明】

（山口副会長）文化祭実行委員会活動事業は以前、市の事業だったのに補助金の開始年度が昭和５４年になっているのは何故です。

（生涯学習課）事務局が市役所の中にあり、市の職員が準備をしていた

時期がありましたが、市で補助金の適正化の動きがあり、徐々に切り離していき、現在のようになりました。

（山口副会長）今は、３事業とも外に出ているんですね。

（生涯学習課）はい、そうです。

（山口副会長）文化協会活動事業は、前回の審議会で、各種団体の自主自立という観点から、公募制に移行し、文化芸術の向上を図ることが望ましい、という指摘でしたが、公募制は難しいのですか。

（生涯学習課）文化というのは街の活性化、街おこしをしようとする若い勢力と伝統的な組織があり、高齢化の中で定年退職された方の受け皿になっているのが文化祭です。従来のお花、お茶、民謡、日舞等ではなく、例えばフラダンス、ジャズ等で街おこしをしようとする若い勢力があり、自分達が演者にならず街を活性化して行こうとしています。従来活動については補助金がありますが、新しいジャンルに関しては、市民活動推進室が担当し、新たに補助金を市に求めるのではなく民間に助成金を申請しています。これは、両方あった方がいいのかと考えています。伝統的なものを壊したら二度と元に戻せませんし、若い方の手伝いもさせていただきたいと思います。二本立てで文化振興は考えています。

（松本委員）文化協会と美術家協会は、並列ですか、上部ですか。

（生涯学習課）並列です。単独で団体を持って活動し、文化協会では市民に開放しています。

（前田委員）公募制は難しい事なのですね。

（生涯学習課）はい。

（前田委員）文化協会事業は平成１８年から２０年に見直し、補助金を削減したという事実がありますが、２１年以降は額の問題もありますが、内容等について検討する必要があると思います。適正化実行プランの２１、２２、２３年度に「文化協会と連携を図り、引き続き支援していく」と毎年同じ事を書いてありますが、検討する点がないのですか。

４１年間続いてきた事に疑問を持ちませんか。この補助金が市として価値があるか検討し、改善改革をしていくべきです。

（生涯学習課）補助金は未来永劫続くものではないので、独り立ちするまでの一時的な支援だと基本的には思っていますので、反省すべき

点があります。

根本的に41年間、人の移り変わりがあり、芸術文化もその中で移り変わっています。市としては、後期基本計画の中で芸術文化の振興、それに対する市民文化の活動支援を施策として位置づけし、地域コミュニティの育成にも側面で発展しています。それぞれの分野の役員が高年齢化しているので、活性化を促すよう、若い人が入ってくるようなアドバイスをしています。施策の中で位置づけをしているので、側面から支援していければと思っています。

（前田委員）補助金を否定しているのではありません。41年間漫然と出しているのは、市の責任です。団体が当然貰えるものだと思っているのは良くないと思います。

（伊藤会長）41年間長期化し、マンネリ化、既得権化は好ましくありません。

（西村委員）美術家協会活動事業の平成23年度予算要求に当たっての担当課の見解に、補助金でなければ委託契約を結んで委託料という事も考えられますが、補助金額の40万円ではすまないと思われる、とありますが、補助金だけでやるわけだけではないですよ。トータルでやるのですよね。補助金だけを取り上げて、補助金の削減はしないという思想でいくと41年、50年になるのではないですか。

（生涯学習課）実際の事業費の一部の補助です。半世紀になろうとしていて既得権益にならないかと言う事ですが、補助の仕方が、課が減り担当職員数が減り、手が回らなくなり、広報活動等ができなくなり、額は減らしていますが、補助金を打ち切る事ができません。

美術家協会が大きく行っている事業は、流山市展です。市展は工房の方が出店します。流山の後期基本計画の中で芸術団体の活動支援、市民の芸術活動の支援をしていく施策があります。底辺を広げていく分野では、生涯学習課と協会が共同で美術文化の普及活動も行っています。

【青少年育成会議活動事業補助金】

【こども会育成連絡協議会活動事業補助金】

【青少年指導センター補導員連絡協議会活動事業補助金】

【生涯学習課 説明】

- (山口副会長) こども会育成連絡協議会活動事業補助金で構成単位は子供会 104 名、育成会 68 名になっていますが、子供会の人数ですか。
- (生涯学習課) 子供会は役員がいて独立している子供会と、少子化の為に自治会の子供部として 1 年役員をすれば役員交代する子供会があり、補助金対象は、独立している子供会です。自治会の子供会を否定しているものではないので、研修に参加してもらい、1 年で終わるのではなく、子供を健全に育てるノウハウを学んだり、保険に入ったり、安全確保の研修をしてもらえればと思っています。
- (山口副会長) 人数が少ないと思いました。補助金の公平性という点で疑問点が出てきます。
- (生涯学習課) 昨年の各自治会へのアンケートでは、56 の子供会が自治会子供部になっていました。補助金を支出するだけで良しとしていた結果、尻つぼみになってきており、今年から PR に力を入れ、自治会の子供部にもお金でない部分の支援策を練っていきたいと思います。
- (山口副会長) 補助金の期間が長い為、中身の検証、改善工夫を打ち出していないとマンネリ化の指摘が付きまとうと思います。
- (生涯学習課) 情報公開する事が一番だと思います。補助金の対象団体の意識も変わっていくでしょうし、補助金を支出している職員の意識も変わっていくと思いますので、活動団体の露出度を高めていかなければならないと思います。
- (前田委員) 青少年育成会議活動事業補助金は経費の内 98% 補助金が入っています。行政として疑問を感じ、改善をしなければならないと思っているのではないですか。27 団体の会費はありますか。
- (生涯学習課) あります。
- (前田委員) アウトソーシングの検討を記載されていますが、具体的な内容を適正化実行プランの中に示してもらわないと分かりません。
- (伊藤会長) 子供会と育成会はどう違うのですか。
- (生涯学習課) 子供会は子供達、育成会は父兄です。
- (松本委員) 登下校の見守りをするボランティア活動は入っていますか。
- (生涯学習課) ここには入っていません。

- (松本委員) 自主的に会長、副会長、会計を決め、自分達で会費を出し合って小中学校の朝夕の登下校を見守っていますが、ボランティアで市のお金は出ていません。子供の安全を守る為の対策を流山はやってないですね。
- (廣田委員) 青少年育成会議活動事業でコミュニティ地域の中でコミュニティを作らなければならないという事は、不登校や非行を防止すると言われ良い事だと思いますが、実際は活動内容とリンクしてないようですが。
- (生涯学習課) 本来、連絡協議会は事業をすべきではないと思います。方向を決め、指導すべき立場なのですが、具現化するために大会等を開催しています。補助団体の内容に口を挟むのは難しいのですが、位置付けしていきたいと思います。イベントは手段だと思いますが、目的になっていて、それがマンネリ化になっているのだと思います。今年は、職員が指導していこうと話し合いをしています。
- (廣田委員) 地域のコミュニティづくりで効果を出してほしいです。
- (生涯学習課) 生涯学習部全体の中では公民館が乳幼児の集いの場をつくり、そういう方向に持っていつています。部全体とすればスポーツ振興では子供向けのお母さんと一緒にやれるもの等にシフトしています。生涯学習部全体として子供の方に向けていく動きをしています。
- (廣田委員) こども会育成連絡協議会の存在を知りませんでした。
- (生涯学習課) 地域の子供会にお勧め下さい。露出度が足らないのでひっそりとやっていたのでは駄目なので、4月から市のホームページ「ぐるっと流山」に出すようにしました。

【体育協会活動事業費補助金】【生涯学習課 説明】

- (前田委員) 高い評価をしています、51年間続いています。前回、長期化のため検討の余地がある、となったにも関わらず、今の説明を聞いていると、体育協会の人に来て一生懸命自分の立場を言っているように聞こえます。51年間をどう思いますか。
- (生涯学習課) 日本のスポーツ振興の歴史は、運動競技から始まってきた経緯があります。競技スポーツの一流選手と子供達のふれあいの機会をつくる事も盛り込まれています。

- (前田委員) 説明を聞いていると、より体育協会を強化しますと、聞かれます。 51 年間も長く続けて、前回の答申で見直しをするように言っているにも関わらず、逆の事をおっしゃっています。
- (伊藤会長) 体育をバックアップするという重要性は分かりますが、補助金等適正化実行プランの実行プランの欄に平成 21 年度、平成 22 年度、平成 23 年度に全く同じ一行だけです。重要性は分かりますが、実行プランが抽象論だけで 51 年間も続くようでは、重要度に疑問を感じます。
- (生涯学習課) 体育協会を強化していくのと、補助金額を上げていくとか出し続けていくのは、違う話だと思います。
- (前田委員) 体育協会を強化していくことは反対しません。 450 万円を市が出しているのです、その関連を言っているのです。検討する、見直しする、改善をするという事を何も感じられません。
- (生涯学習課) すみません。調書の書き方に誤解があったかと思います。
- (松本委員) 費用対効果も上手くいっていて、補助割合も 11% で長く続いている、上手くいっているケースだと思います。
- (生涯学習課) 4 年前に健康都市宣言をして、ヘルスアップ事業等役所全体が健康づくりに盛り上がり、最終的に継続できるかとなった時にスポーツを地道に広げていった人達は、体育協会の中心の人達です。文化協会と体育協会の一番の違いは、スポーツは体力が段々衰えてきますと世代交代があり、少年スポーツが出てきます。剣道は少年剣道を指導し、野球は少年野球を指導し、現役と指導者と分かれていきます。文化だと大先生になっていきます。50 年ですが、新陳代謝の激しい中身です。健康都市宣言を実質的に需要面で支えてくれています。ここ何年間か体育協会に役所側の依存度が大きくなっている為、その思いが今のような説明になってしまいました。決して補助金を増やしていくとか、未来永劫この補助金を続けていくという思いではなく、こういう人達と協働していき、補助金でなくても委託料になってもいいのですが、一緒にないとやっていけない、役所だけでは流山市民の健康づくりや生涯スポーツの定着を図っていけないと思っています。
- (山口副会長) 長いと漫然と見られてしまいます。良い補助も検証して効果、情報公開をすれば良いと思います。関心のない市民もいます

ので必要性を検証して下さい。

（生涯学習課）福祉や環境と違って社会教育や生涯スポーツのジャンルは公金で遊んでいるように思われがちです。誤解がないように説明してくる努力をしていかなければならないと思います。

（前田委員）冷静に厳密に分析して皆さんに反論しています。４５０万円の内、報償費に９０万円ですが、報償費とは何ですか。

（生涯学習課）参加記念品、メダル代です。２１競技種目の中にクラス別、年代別、内容別の競技がありますので、それぞれの優勝者へのメダル代です。

（伊藤会長）生涯学習課の話の中に健康づくりが出てきましたが、体育協会とは無関係ですか。

（生涯学習課）大きな考え方としては、別です。

（山口副会長）対象は市民ですか。

（生涯学習課）オープンは近隣市も参加可能ですが、基本的には市民対象です。

（松本委員）先程の青少年指導センター補導員連絡協議会の経費内容で県補助金負担金 154,210 円は県に払っているのですか。

（生涯学習課）県の連絡協議会への負担金です。流山の子供だけ守るのは無理な話で東葛の連絡会、県の連絡会があります。補導員は流山市と千葉県両方から委嘱されます。

（松本委員）生涯学習課の場合は長期化した補助金があり、何か変わらないのかという印象があります。

（生涯学習課）先方も異動で職員も変わっていますので、常に違う目で見えていかないと慣れ合いが出てきますので、気をつけていきたいと思います。

（伊藤会長）長時間、ありがとうございました。

３回にわたるヒアリングが全部終了しました。ヒアリングの審査表を各自 7 月 22 日までに事務局に提出して下さい。次回は、7 月 26 日火曜日 3 時からとさせていただきます。

これで第 5 回補助金等審議会を終了したいと思います。ありがとうございました。

午後 5 時 2 5 分解散